



月にみがきて

令和5年10月20日

千曲市立更級小学校
<文責>
教頭：青木 猛

校長先生のお話(10/10)より～150周年記念式典に向けて～

1年生は、初めての遠足に行きました。第2学校給食センターでは、毎日おいしく食べている給食を作っている様子を見学したり、佐良志奈神社まで長い距離をがんばって歩いたりしました。

2年生は、バスと電車を乗り継いで乗り物遠足に行きました。駅では、自分でお金を入れて切符を買ったり、他のお客さんと一緒に電車に乗ったり、遊園地では友達と一緒にいろいろな遊具に乗って遊んだりしました。

3年生は消防署へ社会見学に行き、消防車や救急車を見学したり、私たちの生活をどのように守ってくれているのか聞いたりしながら、たくさんのことを勉強しました。また、戸倉キティーパークでは動物とふれあったり、大きな遊具でたくさん遊んだりしました。

4年生は、ゴミ処理場や水道管理事務所へ社会見学に行き、ふだん当たり前のように飲んでいる水道水がどのように作られているのか、毎日出しているゴミがどのように処理されているのかについて、しっかり見学して学習しました。

5年生は、春に棚田へ植えたお米を収穫しました。名月会のみなさんに教えていただきながら、昔ながらの手で稲を刈る体験ができて良かったですね。明日の脱穀もがんばってください。

6年生は、一泊二日で東京へ修学旅行に行きました。国立科学博物館、浅草、スカイツリー、国会議事堂などを見学して日本の首都である東京の様子について学んだり、キッザニア東京では様々な職業体験をしたりすることができました。校長先生も2日間一緒に過ごしましたが、集団行動や学習の様子から、さすがは6年生だと感心させられました。

どの学年も、校外学習で貴重な体験をすることができました。この経験を活かして、3月までの半年間をさらにがんばってほしいと思います。

さて、来月11月17日（金）には、この体育館へたくさんのお客様をお呼びして、更級小学校の開校150周年記念式典が行われます。今日は、そのことについて校長先生からお話をしたいと思います。

はじめに、今から150年ぐらい前の世の中の様子を紹介します。当時は、江戸時代から明治時代が変わって間もない頃でした。江戸幕府最後の将軍「徳川慶喜」が政権を明治天皇に返上し、長く続いた江戸時代が終わりを告げ、歴史上の有名な人物である西郷隆盛や坂本龍馬が活躍していた時期です。また、6年生が修学旅行で利用した新橋駅と横浜駅の間には、日本で初めて鉄道が開通して蒸気機関車が走り、まだ車も走っていない日常生活では、和服の人と洋服の人が混在していた頃です

そんな時代の中、今から150年前の1873年6月7日に最初の更級小学校は生まれました。当時の更級地区には「羽尾村・須坂村・若宮村」の3つの村があり、その村が一緒になって1つの学校を作りましたが、最初は校舎がなかったため、わらぶきの農家の家を借りて学校にしていたそうです。その後、村の人々の協力で新しい校舎が建てられ、鼎立学校となりました。

鼎立学校の鼎（かなえ）という漢字は、古い中国で宗教儀式に使われた3つの足がある器を意味します。この大切な器を学校に見立て、当時の3つの村である「羽尾村・須坂村・若宮村」を3本の足と考え、協力して学校を支えていくという願いを込めて、鼎立学校と呼んだと考えられています。

時代が移り変わる中で、学校の名前も変わっていきました。鼎立学校から羽尾学校、そして3つの村が合併して更級村が誕生した時は羽尾尋常小学校という名前になりましたが、3つの村が合併したとき、学校の名前をどうするかでいろいろもめたそうです。そんなとき、塚田雅文さんという3つの村のまとめ役だった人が、「みんなが昔から大切にしてきた『さらしな』という名前を使えばどうか」と提案したことを受け、学校の名前に「更級」という名前が使われて、更級尋常小学校となりました。1892年（明治25年）のことでした。

その後も、政府の方針で学校の制度が変わるごとに名前は変わり、更級尋常高等小学校から更級国民学校、第二次世界大戦後は更級小学校と更級中学校に分かれ、さらに更級村が戸倉町に合併した後は、戸倉町立更級小学校となりました。そして、今から20年前に更埴市・戸倉町・上山田町が合併して千曲市が誕生したのに合わせて現在の校舎が完成し、千曲市立更級小学校となりました。

これまでたくさんの地域の方々に支えられ、今年で開校150年になるという節目の年を、みなさんと一緒に迎えられることが校長先生はとても嬉しいです。

さて、更級小学校が生まれてから150年の間に、世の中は大きく変わりましたが、これから先の時代は、今までよりもっと予測不能で困難な時代だと言われています。こんなCMがあるので見てください。

でも、更級小学校で学ぶみなさんならきっと大丈夫だと、校長先生は信じています。毎日の勉強や運動、そうじや遊びに全力で取り組み、友達と仲良く楽しく過ごすことが、みなさんの明るい未来にきつとつながります。

更級小学校が生まれた150年前より少し前に亡くなった、吉田松陰という教育者がいました。この方は、知識と教育に裏づけされた強い信念をもち、幕末の日本が直面した危機をいかに乗り切るかを真剣に考えて行動し、信念を貫き、いつでもどんな状況にあっても精一杯努力しながら誠実に生きた立派な人です。

吉田松陰が残した有名な言葉に「至誠を貫く」があります。これは、「私たちが今できること・やらなければならないことに手を抜かず、一生懸命本気でがんばれば、いつかきつと自分の役割がわかる」という意味です。

更級小学校の未来を受け継ぐのは、今ここにいるみなさんです。ぜひ毎日いろんなことに全力で取り組み、至誠を貫いて行ってほしいと思います。そうすることで、10年先、20年先のみなさんの未来が、きつと明るいものになります。

来月行われる記念式典では、棚田姫の歌を作った吉川忠英さんが、更級小学校へ来てくださいます。みなさんと一緒に棚田姫の歌を歌うのを、とても楽しみにしているそうなので、しっかり練習しておいてくださいね。また、今各クラスで取り組んでいる「さらしなふるさと学習」について、学習の様子を模造紙にまとめて張り出し、記念式典へ来てくださったみなさんにも見ていただきたいと考えています。

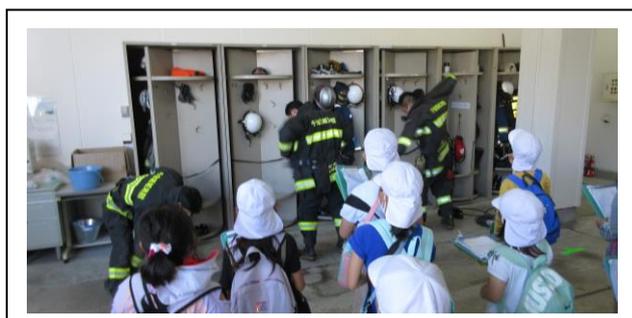
深まる学びの姿から 【体験学習・修学旅行・社会見学・遠足】



【5年生 脱穀体験学習】



【6年生 修学旅行（東京）】



【3年生 消防署など社会見学】



【4年生 上水道場など社会見学】



【2年 乗り物遠足】



【1年生 初めての遠足】